

ことしは群馬県の『赤城山』

菊まつり名物造園作業始まる 大風景花壇

菊花3万本と鉢植え500鉢

菊花連盟会員80人総動員

挿し芽体験する観光客も



菊の花を挿し芽して赤城山の山容を造園する会員たち

新潟県菊花連盟(会長・渡部吉信、弥彦神社宮司代務者)は十八日午前八時ころから弥彦村弥彦、弥彦神社境内で「弥彦菊まつり」名物の大風景花壇の造園作業を行い、県菊花連盟の会員約八十人が赤、白、黄の菊の花を赤城山の山容をつくった。

「弥彦菊まつり」としの県菊花連盟会員と弥彦て親しまれる新潟県と県神社職員が参加。挿し芽菊花連盟主催の県菊花展する小菊は会員が持ち寄り、廿四日までの長きに摘み取り、土を盛った木の柵に挿しつけていった。

外の菊花愛好者が丹精込めて育てた大菊、中菊、小菊合わせて約三千鉢を展示する。

大風景花壇は手水舎前の約六十畳の敷地に、全グラウンディングをつけた国の有名な景勝地を約三万本の菊花の挿し芽と、鉢植え約五百鉢で造園するもので、「弥彦菊まつり」の名物として毎年人気を呼んでいる。

ことしのテーマは群馬県の「赤城山」。南北になだらかに広がる赤城山の山容と、手前に開かれる街並みを菊花で再現する。

造園作業には県内各地

の若手早く、小菊もまだつぼみが多いが、開花している花も目立った。会員たちは脚立を立てたり、足場を組んだりして、山頂から山すそまで一気に作業の様子を見



参拝客や観光客が見守るなか進む造園作業

「弥彦菊まつり」までまだ十日余りあるが、秋の観光シーズンを迎えて、弥彦神社には県外の観光バスが次々と訪れ、県外のツアー客は「大勢で作るんだね」などと言

戦争法廃止!!

憲法をまもる新潟県共 伊勢丹わき交差点付近で同センター(事務局・新「戦争法廃止」怒りの19 県労連)は十九日午後「日行動」と銘打った街頭を十五分前から新潟市、宣伝活動を行う。

怒り 安 破 続 求